

富士川

2月号 昭和46年2月25日 No. 128 富士川町役場発行
 富士川町岩淵121番地
 ☎ 1 1 1 1

町の人口

46. 2.1現在	15,299人
男	7,553人
女	7,746人
世帯数	3,479世帯
(面積)	31.09Km ²

印刷/望月印刷所 T ☎0304

◆模型、左の部分が役場庁舎。
 鉄筋三階建延一七九五㎡(五四四坪)

一階 窓口関係課・住民相談室

二階 管理関係課

三階 会議室大小・和室・教育

委員会・議会議務局

塔屋 公害機械室

◆模型、右の部分が消防庁舎

鉄筋二階建二一四㎡(六五坪)

一階 車庫(三台収容)

二階 消防事務室・消防救急仮

眠室・無線室
 (全館冷暖房設備)

◆建築位置 旧庁舎あと

◆事業費 建築主体工事・仮庁舎
 旧庁舎取りこわし工事

一億三千万円

付帯工事・設計料・忠

魂塔移転・工事雑費一

千五百万円(48年まで

の継続事業)

◆財源 起債六六一〇万円・財産

収入四〇〇〇万円・一般

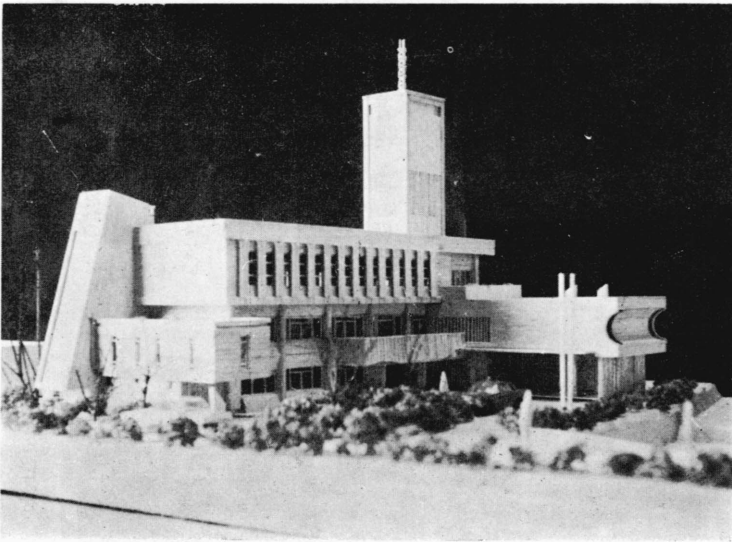
財源三八九〇万円(四年

継続)

これが

富士川町役場

新庁舎——の模型



◆建設日程

3月8日 現庁舎とりこわし

12日 新庁舎工事着工

10月1日 消防庁舎完成・消防

署事務開始

12月15日 新庁舎完成

27日 新庁舎で事務開始

▲施工者 安藤建設株式会社

現役場庁舎は、明治44年の建築で六十年を経過、県下でもっとも古かった建物です。

このため、災害の危険性が高まり、重要書類の管理にも不十分な面が生じ、加えて職員の増加から非常にせまくなつて事務執行上支障をきたしていました。

消防庁舎は、本年四月から発足する常設消防署です。新庁舎は、これを併設した総合庁舎として建設され、皆さんが各種会合に利用できる町民センター式に設計されています。

町交通事故多発

緊急方法で対処

最近、町内での交通事故は、目をおおうばかりになってきています。

本年一月一日から二月十一日までの短期間に発生した交通事故は実に一七件、死者三人、傷者一五

人(この内一名死亡)となっております。

このため、中川交通対策協議会会長(町長)は、二月二十六日夜福祉センターに各区长、区交通安全委員、交通安全協会役員の方を招いて、緊急交通安全対策について協議しました。

仮庁舎

一里塚の東

仮庁舎は、一里塚の東側、ブレハブ一部二階建四四二㎡(一三四坪)の建物と福祉センターを併用します。

平屋だけの棟 税務課・住民課 出納室

二階の棟一階 建設課・衛生課 水道課
二階 総務課・企画課 議会事務局

(町長・助役)

教育委員会は従前どおり福祉センター。

仮庁舎での事務は、二月二十二日から始められており、ことしの年末まで使用されます。



一里塚越しの仮庁舎

その結果、次のような緊急方法で対処することになりました。

■ホタル作戦(夜間歩行者保護)

県下で、昨年中の歩行者の死者二二八人のうち半数は夜間に発生その原因の大半は、歩行者が運転者から見えにくいことからきています。

町は、このため、ホタル作戦ともいふべき、夜間歩行者の懐中電灯携行を決定、各世帯に懐中電灯の購入をおすすめします。

(市価一本二百円、業者の協力と五十円町補助のため実費百円)

■二輪車運転者のヘルメット着用
二輪者運転中の死者のうち85%が頭部損傷が致命傷、その大部分がヘルメット未着用者です。

町は、事業所や高校へもヘルメット着用を呼びかけます。

■歩行者安全教育の徹底
春の交通安全運動期間中、歩行者交通安全教室を開催します。

■交通規制の実施

町道も駐車禁止、速度制限などの規制をどしどし適用していきます。

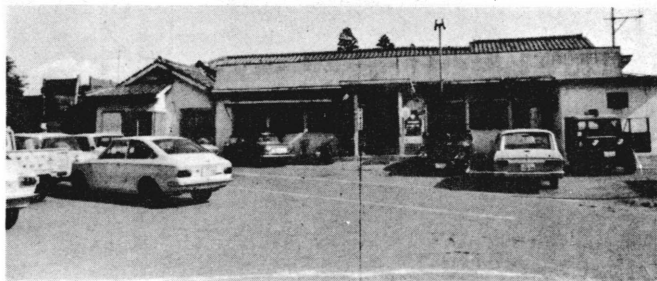
旧庁舎

三月八日に

消えさる

旧役場庁舎は、明治四十二年十二月、工費二千四百円で建築され

消えさる旧庁舎



たもの(建坪一九五㎡・五九坪)

この当時の役場機構は、三役以下、庶務と税務の二係制で書記四名でした――

その後、人員増になる都度、張出し増築して現在に至っています
この旧庁舎も三月八日をもって永久に消え去っていきます。

公園化

一小裏山の

役場前の忠魂塔を一小裏山へ移転しますが、これを機会に、裏山を公園化する計画がすすめられています。

古民家(文化財・現在解体され福祉センター横に保管)や松野地区の忠魂塔なども集められ、緑の公園となります。

町民交通傷害保険

○加入者の資格

当町に住んでいる方なら、どなたでも加入できる。ただし一人一口。

○支払われる保険金

- ①死亡(事故にあった日から一八〇日以内) 五〇万円
- ②失明や片手または片足を失ったとき(①と同じ) 三〇万円

③治療六カ月以上

五カ月	六万円
四カ月	五万円
三カ月	四万円
二カ月	三万円
一カ月	二万円
一週間	一万円
一週間未満	五千円
一週間未満	一千円

農外所得も

正しい申告を

清水税務署は、「農外所得」についても正しい申告をされるよう次のように知らせています（所得税確定申告の詳細については前月号5ページをご覧ください）

近年の農業経営は、機械化や農薬、肥料の改良により、農業技術が進歩して、その結果人手があまりなくなり、生産構造の変化してきたことから、給与や副業、日雇などによる農外所得が増加して、農家の総所得のうちに大きな割合を占めてきています。

この農外所得も、課税の対象となることは、税の適正と公平上当然なこと、農外所得の申告もれないように正しく申告してください。

また、家族に農外所得のあるときの取扱いは次のとおりです。

① 配偶者や扶養親族で農外所得など自分の勤労によって得た所得が年間一〇万円を越える人は配偶者控除や扶養控除の対象にならない。

② 家族専従者で農業以外の仕事に従事する人は、農業の専従期間が一年を通じて六カ月を越えなければ、農業の専従者控除が

できない。また、その農外所得などが、その人の諸控除額を越える場合は、その人も申告と納税が必要。

多角経営農家も

青色申告を

作物の種類や栽培方法の変化にともない、農業の特殊な経営・多角化にめざましいものがあります

このような農家は、経営内容や資金状況などを管理するために記帳をしていますが、所得税では、記帳にもとづいて申告する人のため「青色申告制度」を設けて、所得の計算上やそのほかの面でいろいろ有利な特典（とくに家族専従者に支払う給料は、労務の対価としてふさわしいものである限り、制限なく必要経費となります）を認めています。

現在「農業簿記」が相当普及し

ていますが、まだ「青色申告」をしていない大規模生産家等の方はこの際、青色申告にすることをおすすめします。

申告納税相談

清水税務署

ことしも、所得税確定申告の納税相談を次の期間、富士川町役場で皆さんの相談を受けます。

申告のできる方は、この期間に済ませてください。

譲渡・山林 3月9日限り



営庶業その他 3月4日～6日

（贈与税は2月17日に実施済）

なお、農業所得の申告相談日程については、所得額が決定次第、放送その他により別途お知らせします。

また、個人事業税、個人住民税の申告相談も前記期間中に応じますので、期限内に申告願います。

町民交通傷害保険

予約受付開始

昭和46年度の町民交通傷害保険の予約受付は二月二十六日から始まります。（実施期日は四月一日から一年間）

この保険料は一人年四八〇円。

支払われる保険金は、死亡五〇万円を最高に、治療期間の程度により、右表のように十段階に分れて

おり、治療一週間で最低で二千元

加入者が事故にあわれたときはすぐ役場まで通知してください。

■45年度の間状況（二月現在）

加入者 八〇九二人

加入率 53・3%

住民税・所得税の

申告受付書

住民税と所得税の申告書の受付が始まります。

住民税 時間は9時～16時

3月2日 役場 中郷地区

3日 役場 岩淵・木島地区

8日 旧松野支所 松野全域

所得税 時間は9時～16時
3日4・5・6・9日 役場

保険料収入 二九一万円
保険給付額 三〇九万円
（死亡二人・治療一週間～六カ月）
事務費 二九万円
差引 四七万円
（日本損害保険協会の負担分）
お問合わせは役場企画課へ。

3月1日から20日まで

固定資産税の

あなたの

課税台帳がご覧になります

46年度分固定資産税に関するあなたの課税台帳は、次の期間に限ってご覧になります（地方税法の規定で、この期間以外はご覧になれません）

■期間 3月1日～同月20日

■場所 富士川町役場仮庁舎

なお、課税に不服があり、審査を請求する場合は期間は3月1日から3月30日までです。

初の児童競書会

優秀作、低学年に集中

町立宇多利児童館（中川館長・町長兼務）は、45年度第一回富士川町児童競書会を開催しました。

二月五日に応募を締切り、二月十一日に審査。対象は町内小学生参加者一〇五人（一・二年53人・三年41人・四年6人・五年5人）

児童の創作活動の一環として、「よい子の書道」として実施されたもの。さらに加えて、統一地方選挙が明るく正しく行なわれるよう児童の手で町民皆さんに呼びかける運動の一つとしての意味をもっています。

したがって、テーマも選挙標語です。

展示期間は二月十三日から三月十四日まで。

教育委員会の田村先生が指導と審査をしました。

書題

一・二年 「ふじかわ」

三・四年 「清き一票」

五年 「正しい選挙」

六年 「明るい選挙」



児童館運営協議会委員の作品成績発表会

特選

一年 渡辺悟・田中み

え子・本間安子

渡辺芳子

二年 加藤理恵・古川

まゆみ・古木敏

道

三年 浦田典子・佐野

直樹・早川勝明

白石せい子

四年 斎藤和美

望月千春

五年 藤谷綾子

六年 若月貴宣・倉内

美智子・益木計

博・佐野孝洋・

池谷悦子・鮎川

澄子

二年 望月佐起子・浦

田春代・井上た

かし・小笠原美

美

三年 望月裕子・浅岡

里美・志村則子

飯田義久・鮎川

直味

四年 浦田盛之・関原

康弘

（五・六年なし）

なお、今回の競書会に松野地区の児童が参加しておりませんのでこの点、児童会館へ問い合わせましたところ、館側としては、地域が

離れ過ぎていたため、皆さんが往

復たいへんではないかということ

で呼びかけを遠慮しようです。

しかし、同館では、実施後松野

地区のおかあさん方から、来年は

ぜひにという強い要望のあったこ

とから、次回は実施したいといっ

ています。

——競書会とは 同じ場所にそ

ろって、同一課題に腕を競い合う

書会——

田村先生の講評「総体的に低学

年がよく中学年の順ですね。優秀

作も低学年に集中しています。参

加人員といい、作品といい、高い

書道熱を反映して嬉しく思います

なお、おかあさん方にご注意ください

なのですが——子どもさんに、

自由にとびのび書かせることが大

切です」

ことしはどこへ？

町民ハイキング

毎月第三日曜は家庭の日、忙し

いおとうさん、おかあさんも、こ

の日は子どもさんのお相手を

してあげたいもの。

当町は、毎年四月の第三日曜（

ことしは十八日）町民ハイキング

大会を実施しています。

三月にはいりますと、教育委員

会が、ことし、第四回大会のコー

スの検討にはいります。



女性の平均寿命は、75才ぐらいだといふ。これは更に伸びるだろう。長生きは、誰にとっても結構である。

ところが、子供の少い女性は四十代で、息子なり娘なりが独立する計算になる。彼女らは、核家族の風潮を、まことに民主的だと喜んできた。子供たちにも、パパ抜き生活を認めねばなるまい。とすると、45才から75才までの30年間は、必ずしも結構かどうかわからない。

子供が幼稚園、小学校、中学校と進むにつれて、彼女らは熱中した。が、どうやら、自分の満足感のための熱中ではなかったか？この時期にいての父親は、家庭の二次的存在となる。男たちは、それなりに、自分の棲家をつつけそこにもぐり込む。

やがて、子供が高校、大学と進み、彼女らは、テレた顔で、夫のところへ戻ってくる。しかし、男たちの棲家も、「ひとり」しか入れないのだ。そのうちに就職、結婚と独立。もはや、彼女らを熱中させ、かきたてるものは、彼女らの見渡すところにはなかった、ということになりはしないかと、私はおせっかいにも思う。

それからの30年間なのである。

社会教育主事 池谷九万夫

45年度

町栄養学級

最終の実習会

毎回の経費は八千円平均、全額婦人会で負担して活動を続けてきています。

45年度

町婦人学級と

町家庭教育学級

開講

町婦人学級と町家庭教育学級の両婦人学級の合同開講式が二月一日、福祉センターで行なわれました。

町婦人学級の学級

生は五五名、皆出席者は伊東すえのさん(堺町)はじめ七名 婦人学級一年間の課題は、

町栄養学級(教委と婦人会生活部共同運営・学級生四七人・指導田村公民館長・望月婦人会長)は二月十五日第八回目の実習会を開催しました。

会場は、第一小学校家庭科室。三月中旬、町栄養教室で三町合同の開講式を行ない、一年間の学習を終了します。

保健所の先生を講師として引き保健・衛生・栄養・台所改善等について理論と実修を学んできたもの。

由比町、蒲原町が、ことし初の学級であるのに比べ、当町は第三回目の栄養学級です。

一昨年は小池・宮町の婦人を対象に小池公会堂で、昨年は松野全域の婦人を対象に第二中学校で実施(今回は相生町・川坂・堺町)

としての自覚をもち、とくに孫の教育と嫁に対する理解を深めて明るい家庭づくりに生きがいを見出す」というもの。

両学級とも全コース九回、五回以上出席者に修了証書、九回全部出席の方に皆出席者賞が贈られました。

両学級の運営は、教育委員会の実施、婦人会後援で行なわれ、担当・指導は、田村公民館長、望月婦人会長です。

町家庭学級一年間の課題は、「地域開発の実態を知って町民

盛況な

明治学級

明治学級の閉講式は、一月二十日、清水市中央公民館長・西ヶ谷悟先生の講演「現代と高令者」を聴講後、開かれました。

学級生は、八十五名。九月よりスタートした学級で全コース6回4回以上の出席者は五九名。皆勤

者は二三名という盛況ぶり。それぞれ修了証書と皆勤賞を受け、学級生の顔に明るい笑いがひろがりなごやかな楽しい閉講式でした。

反省会の席上、学級生の側から活発な意見提唱があり、この学級を46年度も発展的に持続させ、二月も早く開講しようという意気なみに、教育委員会も、年度早々、スタートさせるため課題・日程の検討にはいりました。

14回 町民卓球大会

男子の部

関原輝雄さん優勝

45年度第14回町民卓球大会は、二月十四日、八時半から午後三時にわたって、一小体育館で実施されました。

町体育協会卓球部(望月貢部長)の主催で行なわれ、参加者は事業所、各区の卓球愛好者八十五名個人戦、団体戦に熱戦を展開しました。

区対抗

優勝 宮町

二位 新町・新町四十九

三位 相生町

三位 南松野

事業所対抗

優勝 本州製紙(株) A
二位 // B
三位 野田合板(株) A
三位 // B

個人戦 (敬称略)
(男子)
優勝 関原輝雄(本州・宮町)
二位 岡本紘一(本州・新四)
三位 錦織孝臣(八幡町)
三位 堀池利幸(野田合板)

区対抗

優勝 井上篤子(本州)

二位 和田武子(本州)

三位 渡辺千栄子(本州)

三位 秋山克江(野田合板)



町栄養学級の料理実習

大学・高校生に

奨学金

—町教委—

教育委員会は、46年度奨学金の貸付基準を改めて、この四月から次のように実施しますので、希望する方はご利用ください。

- 高等学校 年額五万円まで
- 大学 年額十万円まで

■貸付の条件

- ① 学生・生徒の保護者が二年以上富士川町に在住されていること。
- ② 保護者世帯の固定資産税合計額が一万五千元以下であること
- ③ 保護者世帯の前年度所得金額が十五万円に家族数をかけた額に満たないこと（ただし、大学の場合はこの基準の二倍まで）
- ④ その他審査委員が、生活・成績などの審査によって決定します。

■申請に必要な書類と期日

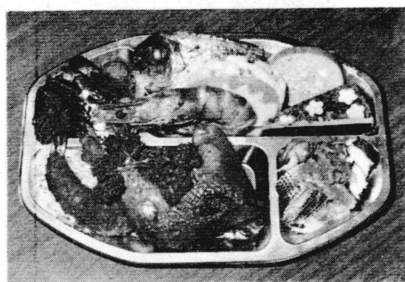
- ① 奨学生願書（教育委員会）
 - ② 推せん調書（在学校長）
 - ③ 成績証明書（在学校長）
 - ④ 身体検査書（医師・病院）
- 奨学金審査委員会は、三月中旬に審査を行ない、進学校の合格をまつて決定します。

希望する方は、三月十五日までに教育委員会へお申込みください

公民館結婚式の料理

千円に統一
4月1日から

下の写真が、当町の公民館結婚式披露宴用として採用された料理のモデルです。



町教育委員会は、町生活改善審議会（若月吉太郎会長）に一月二十日、公民館結婚式改善の意見を求め、これを参考に、具体化をすすめた結果、このほど「新生活運動の趣旨にそって、福祉センターでの結婚披露宴は、一人前千円で行なうていただくこと」を決めました。実施日は四月一日からです。

結婚式の披露宴用の料理は、年々ハデに、また虚礼化してきており、食生活のめぐまれた今日、せっかく持ち帰った料理を子どもが見向きもしないなどという風聞もチラホラ。これでは全くの冗費です。創意工夫を生かし、虚礼を除

き、実費の支出で、しかも、新夫婦の門出を心から祝う結婚式——こうありたいものです。

このためには、新郎新婦が友人に相談する姿勢が必要でしょう。さて、この料理ですが、この料理は、町内の仕出屋さんならば、どこでも作りますから、「公民館結婚式」とお話しになれば結構です。お店の方でも、手数が省け採算が合うと歓迎しています。

なお、教育委員会の指定した今回の料理は、一つのメドを決めたもので、もちろん、会費制などでこれよりもっと簡素にサンドキッチ程度で行なうことをすすめています。

公民館結婚式のお問い合わせは富士川町教育委員会へ。

(TEL 81・一〇〇三)

郡外での受診・治療者

百人につき入院三八人 外来一八人

蒲原病院調

利用ください。

なお、蒲原病院に社会医療相談室が新設されます（内容は次号）

郡内病院・医院利用状況

(45年)

利用状況→ ↓町別	入 院 患 者			外 来 患 者	
	郡	内	計	郡	外
由比町	34%	74%	57%	43%	86%
蒲原町	63	64	64	36	78
富士川町	50	64	60	40	72
庵原郡計	51	66	62	38	82

註 国保とは国民健康保険、社保とは健康保険、組合健康保険
%は100人当り何人のこと。
精神、歯科は含まない。

〈グループ紹介〉

母親書道の会

会員募集

わたくしたち町文化協会書道グループは、毎月一回第二火曜日を稽古日としています。

現在、会員は12名です。

会費は月百円、場所は老人福祉センター、午前九時半から十一時半までです。

指導は加藤恵子先生で、「竹堂かな帖」などを手本にしています。

先生のご都合の悪いときは、自分たちで好きに楷書・行書・小倉百人一首などを練習し、清書した作品を提出して先生におおしいたします。

いつもはのんびり稽古、おしゃべりもさかんですが、文化祭の作品にとりくむ九月・十月の稽古は真剣です。このときこそ上達するのだと思います。

十一月・十二月は年賀状の練習を中心に、一月には新年寄せ書き会を松野の書道グループと合同で行ないます。

今年、松野の会員宅で、同グループ全員の手料理のおもてなしで楽しく過ごさせていただきました。あのときの「ごぼうの味噌あえ」など忘れられない味です。

松下政弘君(第一中学生三年、新町四十九・松下幸男さん長男)

星の子 太田 利三



また、県展や静大の書道展、清見寺・臨濟寺の見学等を通じて、

広く「外」を見ようとしています。茲林寺をお借りしてすばらしい気分を筆をとったこともあります。

ともかく気のおけない仲間と楽しい時間をもてることはしあわせだと思っています。

筆を持ってみたい方、わたくしたちと一緒に書いてみませんか。問い合わせや申し込みは教育委員会(TEL81・一〇〇三)へお願いします。

(文協書道部・池谷佐和子)

松下 君

剣道初段

は、二月七日、沼津商業高校で行なわれた「剣道有段者昇格試験」に見事パス、初段を獲得しました。

中学生で初段の資格を取るには資質はもちろん、連日にわたる心身練習、とくに何事にもくじけぬ忍耐力が必要でしょう。

一中からは、昭和四十二年、当時三年生の佐藤敬治君(幸町)の獲得につき、これで二人目の有段者を出したことになります。

一中剣道部員は、三年生七名(松下君を除く六名は一級)・二年生七名(内一級五名)・一年生二名の計一六名。昨年夏、郡大会で二位、秋の新人戦で優勝しています。

青年バレーボールリーグ戦

今回は最終

三月五日

青年バレーボールリーグ戦は、町連合青年団バレーボールサークル(古木悦雄責任者)で運営されています。

北松野・南松野・宍野・相生町新町・東町・サインはV・九十鉄工所の八チーム。

二月五日の結果
サインはV 2対1 相生町
北松野 2対1 宍野

次回最終は三月五日
サインはVと新町四十九の対戦

一月詠草

天野 寛選

田村 タカ

箱根路の霜柱たつ山踏みのぼり
ユネスコ村をのぞき歩きぬ

一首無理なく詠まれている。この素直さは好感が持てる。更に進めば初句を省いてユネスコ村をもっと出すことであろう。

長橋 安子

しあわせを知らず老いたる愚知
なども忘れつつ向ふ白梅の花
無心に咲き匂う梅の花に向えば
身の労苦も忘れて心清まる思いは
あろう。上句大げさに云われているがやはり一つの感動である。

植松 秀子

幼き日波追いにける浜理めて橋
脚高くバイパス成りぬ
国土開発は一方において人間の
内面生活も、また自然をも破壊してゆく。悲しいことである。作者のこの歌も決して喜びの歌とのみ解せられまい。

望月 録

子等来り我は馳走に追はれるる
夫のはずめる声をききつつ
初句の子等は里帰りの子、遠く
勤めに出ている子などを含めてい
るだろう。正月の嬉しい気持が一
首にあふれている。

人の流れ

(敬称略)

祝誕生

区名	氏名	保護者	続柄
東町二	鮎川真理子	重洋	二女
東町一	深沢さ代	勲	二女
宮町	関原 忠	昇	二男
相生町	森木健二	久俊	二男
清水町	宇佐美明寿	康之	長男
八幡町	桐山秀広	庄司	長男
八幡町	深沢春美	常夫	二女
東町二	深沢潔美	米二	長女
宮町	細野真裕	利弘	長男
木島	望月輝之	寿	長男
新町	佐野貴之	俊光	長男
大北町	小林和央	喜吉	長男
川坂	望月和俊	俊夫	長男
南町	小林京子	功利	長女
日の出町	金山満奈美	満男	長女
木島	松下真弓	辰美	長女
南町	上野 俊	実	二男
堺町	堀沢真弓	紘	長女
大北町	天野真理子	五一	二女
本通三	佐藤篤	憲明	長男
宮町	佐野孝充	茂夫	長男

舟山町	望月省二	美智子	塩谷
盛下町	若野孝之	英里	望月
転出	氏名	転出先	(結婚)
区名	氏名	転出先	
富士見町	井出澄子	豊橋市	
清水町	稲葉シゲ子	富士宮市	
相生町	天野照子	富士市	
盛下町	朝比奈タカコ	千葉県	
坂下	太田礼子	富士市	
堺町	久保田トシ	広島県	
上町	田代ケイ	栃木県	
小池	田中勝子	神奈川県	
宮町	浅岡サカエ	横須賀市	
四十九	渡辺清司	島田市	

銃の部落

氏車 十

「いくら身の安全が保てるとはいえ、こんな土地でどうか。ぬしには存念があるう、聞かせてくれ」

五十がらみの男だ。足元にうすぐまるように座っている女、子どもは、彼の妻子らしい。いずれもやつれはてている。

「わしが案内するには、それなりの考えがあるからに……」

おそらく偽名であろう、竹四と呼ばれる壮漢が口を開いた。彼だけは独身である。

他の二組の家族の主人も立ちあがり、焚火に尻をあぶりながら聞かされた。

「わしは、なにを持って……？ 承知のとおり銃だろ、しかも優れた奴よ。煙硝、鉛も後生大事にこの背にしばりつけてある。……猟だよ。これだけの人数じゃあ、猪の一头も倒せば楽に一月もてようさ。こは、獣の多いとこだ。夏になれば、この下の富士川にも魚は無数で、子どもでも取れる。

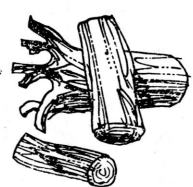
そうしている内にかあ、畑をおこせようし、働きによっちゃあ、不足のない暮らしもできるというもさ、どうだ、重蔵よ」

五十がらみの男、重蔵は、うな

ずいた。

「さような、塩を得るにしても、海は近い。どうだ、ぬしら」

戰場を離脱し、甲州から落ちてくる間に、自然に集まったこの人数は、いつか、重蔵の判断にしたがうようになっていた。



彼等は、勝頼の家臣の従士だった。竹四だけは、勝頼直属の騎馬銃士であり、所持する銃は、長篠の合戦で大敗した勝頼の強い執念を反映して最優秀の火縄銃だ。

地はない。眼下に富士川が流れ、頭上に富士、絶景を楽しむことができた。冬ではあるが、丘のひだは日だまりになって、遊び回る子どもたちの歓声が明るい。

重蔵は女たちを指揮して畑作りや山芋掘り。

竹四の銃は火を噴いた。勢子にまわった男たちは、竹四の撃ちよい地点へと獣を追った。

皆の命をえずかる銃である。

食事は猪の臓腑、鳥、兎などの小物、山芋、かゆ、萌え始めた草の芽などの料理である。猪・鹿の肉は、あぶり焼き、乾燥して貯えた。もちろん食糧は皆の共有物であった。

竹四の銃は、春まで火を噴いた

◆◆◆

「どうだ、倍の八軒にもなりよったのう」

白髪のいっそう目立つようになった重蔵である。

竹四は、無理もないと思う。この三年間の苦労というものはきつかった。

「竹四の銃が、部落をつくってくれたわ。煙硝もなくなり、道具にはならなくなったが、大切にしてくれや。……どうだ、こうなったら、わしらがの部落にも名をつけようかい。あの銃に感謝してだな。銃の号の——木島——、はどうだろうか」

編集覚書

いつもおつげ本番の「広報富士川」で皆さんに申訳ないと思う。同時に、いかに広報紙づくりが難しいか、わかってきたのも今。「首、蛇におじず」だった自分に赤面する。大きな壁、越えることができるだろうか。

81・一一一 広報富士川齋藤 博